

富士山の初冠雪、130年間の観測史上最も遅いとのこと、温暖化が進んでいる証拠でしょうか。異例なのが当たり前のような季節感になっています。気温も上がったりが下がったりが激しいので、子どもたちは風邪ひきさんがとても多くいます。今日も15人の児童が風邪や発熱等で休んでいます。体調管理の基本は睡眠です。改めて早寝早起きを！

家庭と学校ががっちり手を繋ぐ2年目に

## リスクを回避し、安全に配慮した冬支度・身支度・持ち物を！

3連休最終日は20度越えの気温となりましたが、昨日から冬型の気圧配置となり、初冬の佇まいになり、観測史上最も遅い富士山の初冠雪の報道もありました。今朝の冷たい雨の中、登校してくる子どもたちの中には準備が良いご家庭(?)、お子さん(?)もいて、温かい手袋をしている姿が何人か見られました。手袋を付けていない子どもの多くが、雨に濡れた手を長袖の中に引っ込めて傘を持ったりしていました。急な気温の低下だったので冬支度が間に合わなかったのかなと感じました。



そんな姿を見てから学校に戻り、いろんな表簿に目を通していたら、ちょうど11月1日の原田方部交通指導記録簿に、こんな記載がありました。

「寒くなってきたせいか、防寒具のポケットに手を入れたり、フードを目深にかぶって歩く子もいました。また、水筒を手を持っていたのですが、通学班の班旗もあると両手が塞がってしまいました。転倒時、手持ちも肩掛けもどちらもリスクがあるので、水筒の持たせ方が難しく感じました。」交通指導担当のお母さんが、子どもたちの登校する姿から、危険リスクに気がつき記録の形で報告をいただきました。



これから、本格的な寒さがやってきます。朝の寒さをしのぐための手袋や耳当て、防寒着や帽子、マフラーや冬用の靴など、**今年の物を確認下さい。**



今朝も「今日は長靴の方が良かったね」と、運動靴に雨が浸みてしまった子に昇降口で話しかけたら、「もう小さくて履けないんだもん」という返事が返ってきました。

## 今日の分の持久走記録会を延期します。ぜひ、おいで下さい

今朝、昇降口で3・4年生から、こんな言葉がたくさん聞かれました。「今日はやらないんですか?」「お父さんが、今度いつなんだ?って言っていました」「今日の午後、晴れたらできるんですか?」

子どもたちは、おうちの人に自分の勇姿を見てもraitakute、今日の雨にがっかりしていました。今日の昼前からは明るい太陽が顔を出し、本当に意地

お子さんはあっと言う間に成長しています。「去年のものを・・・」と思っても、今年の身体に合わせてみないと分かりませんので、冬支度・冬の準備はお早めに、かつ安全面を考えた上で、ご指導をお願いします。

水筒についても、コロナ禍での対応や夏場の熱中症予防等の理由等から、持って歩くのが当たり前の感覚になっています。ポストコロナの今、そもそもこれからの季節に水筒が必要なのかどうかや、必要性がある場合には、その量・水筒の大きさ等について再検討してみてください。



近年のご家庭の生活状況を見ると、水道の水ではなくウォーターサーバーの水しか飲まないといったご家庭もあるかと思えます。学校には水道水しかありませんので、それを飲ませたくないという場合は水筒は必須です。そうでない場合には、冬場は「水筒なし」ということも考えてみてはいかがでしょうか。



これまでも何度か「ランドセルが重すぎる」というご意見をいただき、全国的にも問題視されています。子どもの登下校の安全や身軽な登下校のためにも、冬場の水筒について各ご家庭で再検討いただければ幸いです。

それぞれのご家庭の方針や事情、あるいはお子さんの体質等もありますので、**一斉一律に「こうして下さい!」ということではありません。**

「みんなが水筒を持ってきているからうちも」ということではなく、「冬場は着る服も分厚くなるし、できるだけ身軽に安全にしたい」といった視点も大切に

悪な天気ですね。

そんな子どもたちの思いを受け、今日の持久走記録会の延期日程については、各学年で調整した上でLEBERにて、該当のご家庭にお知らせします。

お仕事等のご都合が付けば、ぜひお子さんの勇姿をご覧いただきますようよろしくお願いいたします。

